

◆日向市総合体育館の竣工式

◇式次第（午前10：00～）

- ① 開式
- ② 主催者あいさつ
- ③ 来賓祝辞
- ④ 来賓紹介・祝電披露
- ⑤ 事業経過報告
- ⑥ 感謝状贈呈
- ⑦ テープカット
- ⑧ 愛称名のサインボード披露
- ⑨ 閉会



◆日向市総合体育館の概要

◇建築概要

施設名	日向市総合体育館	
所在地	日向市大字日知屋 12106 番地	
主要用途	体育館	
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造	
規模	地上2階建て	
建築面積	4,531.97 m ²	
延床面積	6,905.43 m ²	
施設内容	1階	アリーナ、多目的室、トレーニング室、交流室、キッズルーム、大会事務室、放送室、救護室、会議室、事務室、交流階段、更衣室、多目的更衣室、トイレ、多目的トイレ、キッズトイレ、授乳室、多目的個室、器具庫、備蓄倉庫
	2階	武道場、会議室、トイレ、多目的トイレ、更衣室、観客席、観覧席、車椅子席、器具庫、ウォーキング・ランニングコース、

◇基本コンセプト

- 1 市民の誰もが日常的にスポーツ活動、健康づくりに親しみ、利用できる体育館
- 2 様々なスポーツ大会が開催され、スポーツ交流やイベントの拠点となる体育館
- 3 災害時の拠点施設となる体育館

◆HIPPIY

- ・広島県在住 宮島観光大使（2026 年より）
- ・2003 年 SNAIL RAMP が立ち上げた「SCHOOL BUS RECORDS」より「maegashira」というバンドでデビュー
- ・2011 年「maegashira」解散し「HIPPIY」としてソロ活動開始
- ・2015 年 NIPPON CROWN よりメジャーデビュー



当時代表曲でなかった「君に捧げる応援歌」がリリースから約 10 年を経て YouTube、TikTok、ストリーミング、それぞれ 1 億回再生を超え人から人へ広がり繋がる応援歌として各メディアにて”令和の応援ソング”として注目される。

- ◇2020 年 プロ野球選手の登場曲 タイトル別ランキングで 1 位
- ◇2023 年 発売アルバム「夜明け-Be Alive-」はオリコンチャート 3 位
- ◇日本レコード協会 ストリーミング ゴールド認定を獲得
- ◇2025 年 発売最新アルバム「ひろいしま」はオリコンチャート 2 位
- ◇日本レコード協会 ストリーミング プラチナ認定を獲得
- ◇「オリコン週間ストリーミングランキング」累積再生数 1 億回突破

メジャーデビュー 10 周年記念公演

地元広島での初のアリーナ公演は 4000 人を動員（ソールドアウト）

武道館公演を目指すことを公言

翌年の全国ツアー 20 公演も大盛況に終え ROAD TO 武道館 MISSION にて大阪、東京にてフリーライブ開催を発表

会場を笑顔で埋め尽くし、次なる 1 歩を前へ突き進んでいる。

様々なシーンで困難を乗り越えていく人の背中を押す歌い手として全国各地で歌い続けている。

地元広島の被爆伝承事業にも取り組み「原爆の語り部 被爆体験者の証言の会」を毎月 6 日に開催。

”朗らかな被爆伝承”を掲げ、歌と共に明るく被爆伝承の講演も行っており訪問した学校は全国 200 校を超える。

※HIPPIYのHPより抜粋

◆ネーミングライツ

◇日向市総合体育館（愛称：ひよざえもんアリーナ日向）

命名権者	アミューズ株式会社 代表取締役社長 赤木 八寿夫
事業内容	養鶏（種鶏から孵化、飼育、採卵まで完全一貫生産）
会社情報	「共存共栄」を社訓とし、養鶏家、お取引先、地域社会とともに歩み、成長していくことを目標としており、世界の情報をいち早く取り入れ、卵の種類や鶏の生存率の良さなどを踏まえ、利益率の高い鶏を、県内外の養鶏場に提供している。 食の安心・安全に関しては、種鶏からの一貫生産によるインテグレーション化（大規模生産・流通システム）を実行するとともに最新の理論で構築した衛生管理として、オールイン・オールアウトシステム、フルオートメーションシステムを採用し、省力化による雛の生産・育成、健康な鶏を育てて健康な卵を提供している。

※アミューズ株式会社HPより抜粋



「ひよざえもん」

絵本のキャラクター

江戸時代初期を生きるひよこの武士

アミューズ株式会社の

公式キャラクターとして採用

されている。



【 定番商品 】

◇お倉ヶ浜総合公園野球場（愛称：メディキットスタジアム）

命名権者	東郷メディキット株式会社 代表取締役 中島 崇
事業内容	医療機器の開発・製造・販売
会社情報	血管カテーテルの専門メーカーとして、医療を通じて社会に貢献することを経営理念とし、社是に掲げた「創造・迅速・確実」をモットーに、品質の高い製品を医療現場に提供し、日々進歩する医療に対して、提案できる企業であることを基本方針としている。 1990年に宮崎県日向市に第一工場を構え、以来、地域に根付いたものづくり企業として、宮崎から国内外の医療機関に医療機器を供給しており、2005年には、ベトナム、ハイフォン市にメディキットベトナムを設立している。 社会情勢が大きく変化する中で、的確に変化を捉え、ものづくり企業として、使用される医療従事者の方々、患者様のQOL改善にお応えできる製品を製造している。

※東郷メディキット株式会社HPより抜粋